

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru?

TIMES'17

第8号

平成29年11月1日 発行

発行元:塾熟出版(事務局)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 -6621 FAX 3317 -6620

10月18日

公開講座

受講生 26名
一般申込者 27名
合計 53名



国語辞典から見えることばの変化

飯間 浩明氏 (三省堂国語辞典編集者)

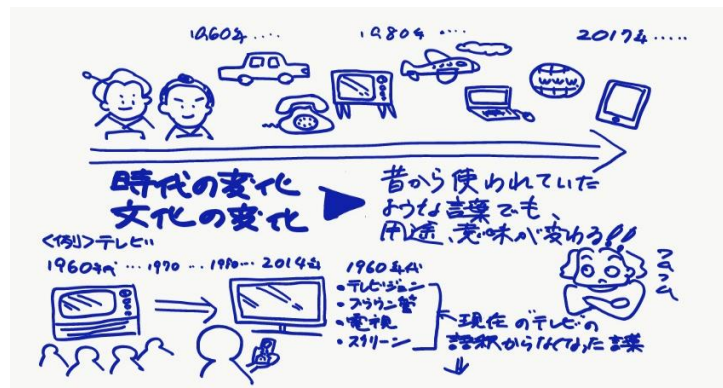
今回のすぎなみ大人塾総合コースは、公開講座でした。受講生の方以外に約30名の方々が参加してくださいました。いつもの大人塾と比べると、雰囲気もだいぶ違いましたね。

今回の講座で、まず印象に残ったのは、「辞書のことばは全部変わる。」ということではないでしょうか。ことばは時代とともに変わっていき、新しいことばも生まれ、使われなくなったことばは見直されていきます。また、1つのことばでも、時代によって使い方が変わっていきます。辞書編纂のお仕事のひとつとして、今普通に使われていることばでも、常に「手入れ」と呼ばれる見直し作業を行なっているということを、改めて確認しました。

<辞書編纂のお仕事>

辞書の作り方

- ・新しいことば→追加
- ・古いことば→削除
- ・その他のことば→語釈の見直し



常に、今の時代に合うことば説明(語釈)

を考え、若い人をはじめ多世代にもわかりやすくすることを模索しているのが、編纂者の方のお仕事です。時代や社会が変われば、ことばの解釈も変わってくるので、テレビや街角の看板、巷から聞こえてくる会話などから、今までとは違う使われ方をし始めたことばを探す作業を日々されています。



◇ワークショップ◇

よりわかりやすく現代的な説明をしてみよう

例) ①インターネット

②小説

③政治

④調理

⑤録音

上記以外のことばでも構わないので、正確かつ現代性も考えて説明してみましょう。

辞書の種類と傾向

○三省堂国語辞典…現代的な説明や生活ことばなど幅広く解説

○明鏡国語辞典…現代的な説明や誤用などを解説

○広辞苑…歴史的な背景が説明に反映している

○新明解国語辞典…古いことば（明治・大正時代など）を取り入れる

○岩波国語辞典…古いことばを取り入れて、日本語全体の大きな変化の流れから解説

※辞書によってこだわりのポイントが違います。飯間さんの場合、語釈を考える時、他の辞書は参考にせず、最終確認の時に利用する程度とのことでした。



ことばは時代とともに変わっていきます。時代はことばから考えてみる事が出来ます。Mission 2では、お二人のゲスト講師にお話いただきながら、「ことば」を手がかりに時代、そして日本語の特性を考えてきました。今後 Mission3 に進んでいくにあたり、「自分もかたよっている」という観点をみがいていただきましたでしょうか。

寒くなってきますが、皆さん、体調にお気を付けてください。

○すぎなみ大人"熟"してる?の発行にあたって○ この新聞は事務局スタッフの視点と記録に基づいて作成しております。